

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス姫路教室		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ソーシャルスキルを取り入れた活動内容になっていること。	・集団活動の中にルールがある内容を多く取り入れ、お友達との関わりの中にもルールがあり、守ることで楽しい時間が過ごせることを経験する機会を多くとれるようにしているところ。	・今以上に子どもたちが楽しめる活動内容にしていきたい。リズム遊びやわらべうたを取り入れ、スキルアップを目指したい。
2	・活動内容やイベントなど、子どもたちの意見を中心に取り入れていること。職員間でも意見がたくさん出ること。	・事前に、どんなことがしたいかを子どもたちに聞いたり、子どもたちで企画書を作成する経験を積んでいく機会を作っていること。	・子どもたちに順番に企画書を書く機会を設け、子どもたちの考えたイベントを行ってきたい。
3	・とにかく元気であること。(職員も子どもたちも)	・活動中、お友達を応援する時や歌を歌うときに、思いきり声を出すこと。競争などを取り入れ、体を動かすことを多く取り入れていること。子どもたちに視線を合わせ、全力で取り組んでいること。	・思いきり体を動かす機会として外の活動を増やしていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・新しい情報を共有していくのに時間がかかってしまうこと。	・いつでも確認が取れること、その都度聞けばいいという雰囲気があることが大きな要因と思われる。	・口頭で伝えるだけでなく、会議等で資料として配布。出勤前に個々で確認できるようにしていく。
2	・個々ではなく全体での課題に、「誰かがするだろう」といった行動が目立ち、負担となっている職員がいること。	・計画を立てて行っていく職員がしてくれるだろうという雰囲気があること。職員同士、声掛けがなく、役割分担ができていないこと。	・役割分担を記入する用紙を作成し、職員全員が目につくところへ掲示していく。
3	・研修などへの積極性がないこと。	・自分のスキルアップを望んでいる職員が少なく思える。積極的に参加する職員に偏りが見られる。	・研修を通して得られることや他事業所との交流など、学ぶ事が多いことを全職員に伝えていき、それぞれの職員に合った研修を進めていく。